

小江戸川越春まつりのオープニングイベントが開催された三月二十二日、大正浪漫夢通りでは、「およげ鯉のぼくん!!」が行われていました。

約九十センチのこいのぼりに色を塗り、それを通りの上に飾っていきます。「川越での思い出づくりの一つとして、楽しんでもらおうと企画しました」と、主催した同商店街の理事長・畑尾嗣郎さん。

観光で訪れた方など約二百人が参加し、思い思いに色を塗っていました。

色とりどりのこいのぼりが春の青空の下、気持ちよさそうに泳いでいます。このこいのぼりは、五月八日(金)まで飾られています。



自分で選んだ色を塗っていきます



皆さんの作品が、通りに飾られています



どんぐり

編集後記

「お尋ねいたします」。このことばに出会ったのは、材料などを扱う量販店の中。年輩の店員に対して話しかけるため、20歳代と思われる男性が使っていました。周りの人を振り向かせる力のあることばには、品格が感じられました▶広報川越の取材を通じ、市民の皆さんにお会いして、ことばの使い方やものの考え方などの宝物を得ました。この春からは新たな分野に挑戦。宝物を十分に生かし、これから出会う皆さんともいい関係を築いていきます (SHI)



レンギョウ

おしやべり倶楽部

植物あらかると

240

小仙波の国道254号の高架下で、たくさんの黄色い花が目に入りました。近づいてみると、根元から分かれ、ニメートルほどに伸びた枝に数え切れないほどの花を付けています。この花はレンギョウ。中国が原産で、三百年ほど前に日本に入ってきたといわれています。

レンギョウの英名は「ゴールデンベル」。それを聞いてあらためて見ると、下向きに咲いている花は、確かに鈴のよう。鮮やかな黄色は、金色に輝いているように見えたのでしよう。この花にふさわしい名前を付けたと、感心してしまいました。